

ごとう 五島

市政報告 発行 No. 07-9M
無所属 五島だいすけ
神戸市中央区加納町 6 丁目 5-1-26F



YouTube



Instagram



X

だいすけ通信

<http://www.goto-daisuke.net>

mail@goto-daisuke.net



九月二日、議会にて
質問する五島だいすけ。

ごあいさつ

残暑厳しい中、みなさまいかがお過ごしでしょうか、この夏の平均気温は平年を2.36度も上回るもので、異常な暑さでした。異常高温対策は益々必要になってまいります、電気代などエネルギーにかかるコストを下げる取り組みも、今後必要性を増していくと思われます。神戸市でも、ごみ処理の熱エネルギーを電気に変える、温度の上がりにくい道路資材の開発や緑の設置などに取り組んでいく必要があります。

エンゲル係数も上がっております、物価上昇による暮らしにくさが厳しさを増す中、令和6年度の神戸市一般会計決算においては、490億円の歳入額増が見込まれています。企業収益の増などが主な理由です。一方で、大企業の給与水準は上がっているものの、中小企業や公定価格で収入が決まる介護・福祉・保育関連の給与水準を上げる事は困難なのです。こういった現場で働くみなさまの手取りを増やすための税収の還元または減税が必要ではないかと考えております。

これまで、市民の皆様からご意見ご要望をいただき、様々な施策を実現いたしました、今号ではこのご報告と、部活動地域展開の補正予算についてご報告させていただきます。是非、最後までお読みください。

これまで実現させて 頂いた主な政策

このほかにも、多くの予算を実現させてまいりました
全て皆様からの声によるものです。
今後もよりよい神戸を創るために、
ご意見ご要望をお寄せ頂きますよう
お願いいたします。



妊婦タクシーチケット導入

コロナ禍で実現、母子手帳交付と同時に5,000円分のタクシーチケット配布を行っています



夏休みのみ預けられる学童保育

制度として夏だけ預かってほしいという声に応えました。学童保育の人材確保が課題のため、さらなる予算確保が望まれます。



センター方式 全員喫食の中学校給食

冷たくて量の調整もできない（評判の良くない）中学校給食を改善、センター方式で暖かい給食を実現（北区は2026年1月から開始）



医療費助成を高校生まで拡大

医療費助成について、現在高校生まで入院費無料、通院に関しては2回まで400円で受診できる状態に。所得制限も解除しました。



スポーツの場を確保するため 学校開放の推進

リモートロックというアプリケーションを使い、市内中学校を市民スポーツの場として開放、多くの皆さんにご利用いただいております。



渋滞対策

皆森～谷上2車線化 五社北交差点改良 岡場交差点改良（工事中） 箕谷北工区トンネル化（箕谷インター西側～日の峰5東 工事中） 生田川右岸線3車線化 ほか。



芦屋の燃えるゴミ受け入れ

芦屋の燃えるゴミを神戸市のクリーンセンターの空き枠で焼却し、芦屋の施設整備コストを減らし、神戸市では焼却受託収入を確保する予定です。



ペットボトル売却収入確保

我々市民が集めたペットボトルを単に捨てるのではなく売るように。毎年2億円強の収入増につながっています。



外郭団体経営改善

神戸新交通の経営改善により、毎年1億2千万円の支出削減を実現、学生定期券の値下げに貢献しています。



有馬温泉～京都直通バスの開通

有馬と京都を直通で結ぶバス路線を、有馬温泉のみなさま、民間バス事業者のみなさまとともに実現、観光誘客に貢献。

中学校部活動の地域展開 コベカツ問題

五島 今回の補正予算では、コベカツ関連費用としてグラウンドの照明整備にかかる費用が計上されている。

一方で、コベカツに関しては、「これからは夜間活動になる」「教員自身もどのような活動になるかわからない」「自分の中学校でどのような活動ができるかわからない。自分がやりたいことが続けられるのか。」

また、2次登録の後「いまやっている部活動が移行後に存在しない」「勤務校でなぜ先生が指導できないのか?」という不安の声を聞く。

熊本市では、教員を含めた幅広い人材を確保するための「人材バンク」を設置し、報酬制度の導入が予定されている。神戸も、照明に予算をつぎ込むのではなく、放課後に活動ができる機会を確保するとともに、参加希望教員を含めた指導者報酬の導入こそを検討すべきである。

物はすぐ買えるが、人はなかなか育ちません。こどもに関わりたい教員の夢も希望も切り捨てるのはダメですよ！部活動は日本にしかない大切な文化、子供の心と体を育て、大人になって競争社会に入る耐性も作れるもの、



九月二日、議会にて
質問する五島だいすけ。

大事な守るべきもの。やめるのではなく、守るべきものです。

部活動も含めて、文化スポーツにこどもたちが打ち込む環境を充実させる事が子育て世代を神戸に呼び込む大きな一手でしょう？

照明整備を急ぐのではなく、今一度、生徒や保護者の意見に耳を傾け、最適なあり方を検討するため、令和8年9月の開始を前提とした地域展開は見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。

教育長 第2段階で約1,000クラブが登録され、11月に3次募集も行う予定で、夕方と夜間に登録あり夜間が6割になっている、営利ではない団体に担っていただく。不安を解消しながら来年開始に向け全力で取り組む。

五島 こどもの選択肢を増やすという大義名分は聞こえはいいが、こどものためを一番に思ったものではない事は市民が見透かしている。「移動多い」「保護者負担多い」「放課後できない」という不安の声が多い。

神戸は政令市初が好きだが、こんな政令市初は我々市民は望んでいない。あれだけ予算と人員を取ってやってくれと頼んでいた。市長はどう思われているのか？

市長 時代は大きく変わった、現状の部活動は持続可能でないとはいっきりしている、この間の議論に基づいた予算はしっかり確保したい。
(以上、9月2日議会質問より)

●皆森交差点～谷上交差点 二車線化実現 その効果と他の渋滞箇所への取り組み

2017年に初めて皆森交差点を先頭とする東向き(谷上方面向き)渋滞解消を要望し、2024年に**谷上までの全線で東向き2車線化の工事が完了**しました。当初思い描いていたものをはるかに超える効果があり、**渋滞長は500m→0mへとほぼ解消**し、多くの方から喜びの声を頂いております。

今回の手法は、受け入れ側道路を改良するもので、過去にも有馬街道の南側、祇園神社の階段下周辺から平野交差点までを2車線化し、朝の南向き渋滞が緩和された経緯があります。

夕方、有馬街道の北向きが渋滞します。これを全線2車線化する事は財政的に困難だとお断りされているところですが、例えば上述と同様の工夫で、**水香交差点～二軒茶屋を北向きのみ2車線化する事が出来れば効果が期待できるであろうと、調査検討をするように要望**を行いました。建設局からの答弁は「車道自体が狭い箇所があり難しいかもしれない」というものでしたが、渋滞解消のために粘り強く取り組みを進めさせて頂きます。



高校生通学費の無償化実現

北区の皆様への代弁者として、10年前初めて本会議にて質問した内容は電車代の高さでした。

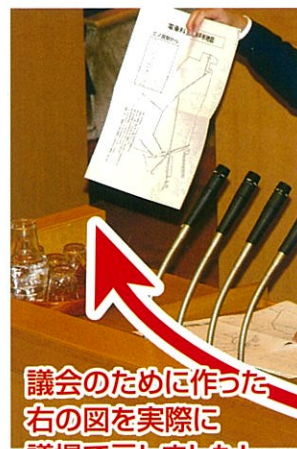
「**本当に高いですね!!(運賃が)**」という言葉から始めた初質問は「???」と思われたに違いありませんが、南北アクセスの改善は素晴らしい住環境を持つ北区の私たちにとっては悲願、これが実現すれば大いに北区は生まれ変わると信じて活動が続けてまいりました。

初の本会議にて質問したのは
北区民にとっての電車代の高さ。
第一声は「本当に高いですね!!」



五島の重点政策実績 (北区版)

神戸電鉄の運賃を半額には出来ませんが、何とか家計に負担が重い高校生の通学費について、**北神急行だけでも割引制度を作れないか?**と要望し、北神急行の高校生通学費割引を実現、その後は全市への適用をしつこく要望を続けました。



その心は、こどもを育てていく上で年齢別に親の出費を考えた場合、**高校生の子に対する家計出費**

が大きいという事です。以前、**知り合いのお子さんが六甲アイランド高校へ通う事になり、通学費負担が大きい事を理由に北区から引っ越して出て行ってしまった事**も一つでした。

それから、**北神急行が市営化され、運賃を大幅に下げることになりました**ので、この北神急行の高校生通学費割引の予算を原資に通学費の割引制度を全市でつくるよう再度要望し、現在制度化されている高校生等通学定期券補助制度を実現しました。

令和6年度予算でとうとう市内高校等への通学費無償化が実現しましたが、これまで地域の皆様から頂いた要望が大きく実現する事は、市政が大きく前進するものと大きく評価したいものです。

このように北神急行市営化後も、高い定期代負担を強いられる家庭の支援のため、通学費低減制度を全市展開するよう要望を続けた結果、

市内高校などは (全国初) 通学定期全額補助を実現!

通学先	令和6年9月～	令和7年4月～
市内	全額補助	全額補助
市外	—	半額補助

そして市外高校も、**通学定期半額補助**を実現しました!

